

講師

輪島 裕介 (大阪大学大学院教授)

赤江 真理子 (ちんどん通信社、山中一平とオンドリヤーズ)

高田 洋介 (東京チンドン倶楽部)

華乃家 ケイ (華乃家)



ちんどん屋から広がる世界

赤江真理子、高田洋介と華乃家ケイの場合



店や商品の広告を請け負い、奇抜な演奏・扮装・口上で通りすぎる人を楽しませながら宣伝するちんどん屋。高度成長期後半に一旦衰退したちんどん屋は、1980年代以降、そこに新たな魅力を発見した先鋭的な若者によって再発見され復興を遂げ、現在ではその世代がベテランとして業界を支えています。彼らは伝統を受け継ぎ独自の仕方でも掘り下げる一方で、オルタナティブ/アンダーグラウンドな表現領域とも密接な関わりを持ち続けています。その意味で、ちんどん屋は、その業態自体が芸能と商売の交差点であると同時に、伝統と革新、大衆文化と対抗文化の交差点であるとも言えます。今回は、元々なわのロック少女から、大阪のちんどん復興を担ったちんどん通信社の創設メンバーとなり、その後河内音頭の世界に身を投じた赤江真理子さん、それぞれ東京と大阪の80年代インディ/アングラ文化からちんどん屋となり、現役の親方として活躍する高田洋介さんと華乃家ケイさんをお迎えして、お三方がいかにかちんどん屋となり、その世界を広げていったのかについて、実演をたっぷり交えて語っていただきます。

2025年10月17日(金) 18:00 ~ 20:00

立教大学 池袋キャンパス 11号館地下 AB01 教室

実演あり



事前登録制 お申し込みはQRコードから